

# 海軍公報

(部内限) 第四千三百六十號

海軍大臣官房

昭和十八年四月八日(木)

## ○令 達

官房經機密第一八五號

當分ノ間南方作戰地域ニ於テハ昭和十六年官房機密第一〇六四九號ノ規定ニ拘ラズ南方開發金庫券(以下南發券ト稱ス)ヲ使用スベシ  
南發券ノ使用取扱等ニ關シテハ特ニ規定スルモノノ外從來ノ外貨軍票ニ關スル各規定ニ從フ

昭和十八年四月一日

海軍大臣

官房經第四〇七號

昭和十六年官房第五一四四號第三號中「海軍艦政本部長」ヲ「海軍省經理局長」ニ改ム

昭和十八年四月一日

海軍大臣

(參照) 前記官房機密第一八五號ハ南方作戰地域ニ於ケル外貨軍票使用ニ關スル件ナリ(海軍機密會計法規程集三三頁)

海軍諸例  
則登載

(參照) 昭和十六年官房第五一四四號ハ海軍工員又ハ職員初給賃錢及臨時昇降級ニ關スル件ナリ

官房空第八九號

大東亞戰爭中特設海軍工作部及特設海軍航空廠ニ機械器具ノ增備補充又ハ備附ヲ要スル場合ハ海軍工務規則第二十六條及海軍通常物品會計規程第二十二條但書ノ規定ニ拘ラズ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長ヲシテ之ヲ處理セシム

昭和十八年四月六日

海軍大臣

官房教第三一號

昭和十七年官房第七五五號學術獎勵賞授與內規中左ノ通改正ス

昭和十八年四月六日

海軍大臣

第二條中「潜水學校練習生」ノ下ニ「及飛行術練習生」ヲ加フ

海軍諸例  
則登載

海軍公報（部内限）第四千三百六十號 昭和十八年四月八日

三二四

第四條第二號中「飛行練習生」ヲ「飛行術練習生」ニ  
改メ同條第三號中「甲種及乙種飛行豫科練習生」ノ  
第五條表ヲ左ノ通改ム

| 賞 別                           |                            | 賞 品 ノ 種 類 標 準   | 記 事                      |
|-------------------------------|----------------------------|---|--------------------------|
| 特修科練習生<br>高等科練習生<br>專修科工作術練習生 | ニ對スル<br>海軍大臣賞              | 懷中時計精工舍製クロム側十七型「ライ<br>ト」<br>六石入<br>懷中時計精工舍製銀側十七型「ライト」十<br>六石入 | 各賞品共之ニ褒賞種別<br>名ヲ彫刻スルモノトス |
| 山階宮航空術獎勵賞                     |                            |   |                          |
| 其ノ他ノ獎勵賞                       |                            | 懷中時計精工舍製クロム側十七型「ミニ<br>スター」七石入                                 |                          |
| 通 校                           | 高 電 信                      | 通信、爆撃（操縦）、爆撃<br>（偵察）、觀測、偵察                                    | 電信術獎勵賞                   |
| 特 飛                           | 通信、爆撃（操縦）、爆撃<br>（偵察）、觀測、偵察 | 通信、爆撃（操縦）、爆撃<br>（偵察）、觀測、偵察                                    |                          |
| 高兵整                           | 射爆、雷爆、寫眞、光學<br>兵器          | 射爆兵器、雷爆兵器、寫<br>眞  | 航空術獎勵賞                   |
|                               | 普 兵 整                      |   |                          |
|                               | 普 電                        | 交信班、特班、暗號班  |                          |
|                               | 交信班、特班、暗號班                 |   |                          |
|                               | 電信術獎勵賞                     |   |                          |

別表中通校ノ項及練習航空隊ノ部ヲ左ノ如ク改ム



官房機密第四一五號

昭和十八年四月八日

在京海軍各廳長  
各鎮守府  
各警備府  
各艦隊  
參謀長

海軍省副官

内令  
登載

昭和十八年四月八日  
依リ本廳自然消滅

海軍公報(部内限) 第四千三百六十號 昭和十八年四月八日

三一五

○通牒

(参照) 昭和十七年十二月十五日部内限公報掲載同内規

|                               |            |                                 |     |
|-------------------------------|------------|---------------------------------|-----|
| 航空隊                           |            | 練習                              |     |
| 飛練                            |            | 高飛整                             |     |
| 專修別及出身別ニ依ル區分ハ毎年初頭之ヲ定メ關係各部ニ通知ス |            | 飛行機(大型機)、飛行機(小型機)、飛行機(水上機)、計器電機 |     |
| 丙種飛豫                          | 乙種飛豫(特)    | 甲種飛豫                            | 普飛整 |
| (攻撃)                          | 操縦、偵察、射撃整備 | (攻撃)<br>操縦、偵察(通信)、偵察            |     |
| 航空術獎勵賞                        | 航空術獎勵賞     | 山階宮航空術獎勵賞                       |     |

海軍構門通行取締及身分證明書ニ關スル件通牒

首題ノ件當分ノ間左記ノ通定メラレ昭和十八年五月一日ヨリ施行セシメラレ候條可然取計相成度

記

- 一 海軍構門及各廳構門通過ノ場合ノ通行取締
- (イ) 准士官以上、高等文官、同待遇者、判任文官一等(部内限勅、奏任官待遇囑託ヲ含ム)

- (一) 制服着用者  
必要ト認ムルトキハ所轄、職、氏名、用件等ヲ訊ネシムルコトアリ
- (二) 平服着用者  
身分證明書ヲ提示ス  
必要ト認ムルトキハ所轄、官、職、氏名、用件等ヲ訊ネシムルコトアリ
- (ロ) 下士官及兵  
所轄、氏名、用件等ヲ訊ネ又ハ所持品ノ點檢ヲ行ハシムルコトアリ
- (ハ) 判任文官(判任文官一等ヲ除ク)、同待遇者(部内限判任官待遇囑託者ヲ含ム)  
(一) 制服着用者  
必要ト認ムルトキハ所轄、官、職、氏名、用件等ヲ訊ネ又ハ所持品ノ點檢ヲ行ハシムルコトアリ
- (ニ) 平服着用者  
身分證明書ヲ提示ス  
所轄、官、職、氏名、用件等ヲ訊ネ又ハ所持品ノ點檢ヲ行ハシムルコトアリ
- (イ) 雇員、傭人、工員、鑛員及徴備船舶船員(雇員

- 傭人ノ待遇ヲ受クル者ヲ含ム以下同ジ)  
身分證明書ヲ提示ス  
所轄、職、氏名、用件等ヲ訊ネ又ハ所持品ノ點檢ヲ行ハシムルコトアリ
- (ホ) 入夫、従業員、供給工員、部外者等ニ付テハ鎖守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ定ムル所ニ依ル
- 二 自動車ニテ構門ヲ出入スル場合ニハ一旦停止スルモノトシ前號ノ規定ヲ適用ス但シ晝間(日出時ヨリ日没時迄) 准士官以上、高等文官(判任文官一等ヲ含ム)、同待遇者乗用ノ部内自動車ハ特ニ停止セシメラルルモノヲ除クノ外徐行スルモノトシ前號ノ規定ニ依ル身分證明書ヲ提示ヲ行ハザルコトヲ得
- 三 身分證明書ノ發行ハ左ノ區分ニ依ル
- (イ) 海軍省發行ノモノ  
軍人、文官、同待遇者(囑託者ハ各廳ニ於テ常時勤務ノモノ以下同ジ) (別紙第一様式第一)  
雇員、傭人、工員 (別紙第一様式第二)
- (ロ) 鎖守府及警備府發行ノモノ  
准士官以上 (別紙第二様式第一)  
高等文官、同待遇者 (別紙第二様式第二)

判任文官、同待遇者（別紙第二様式第三）  
 雇員、傭人、工員、鑛員（別紙第二様式第四）  
 徴備船、船員（別紙第二様式第五）  
 四 前號身分證明書ハ部内各部相互ニ通用ス  
 五 鎮守府又ハ警備府ニ於テ發行スル身分證明書ハ別紙第二ノモノトシ廳長又ハ廳長ノ指定スル者所要事項ヲ記入ノ上本人ニ之ヲ交付ス  
 六 鎮守府及警備府ハ身分證明書發行原簿ヲ備フルモノトス各廳長（徴備船船員在リテハ監督官トシ監督官アラザルトキハ徴備擔任ノ海軍艦船部長トス）又ハ廳長ノ指定スル者ハ部下高等官又ハ之ニ準ズル者ヲシテ身分證明書ノ受拂及交付者名簿ヲ調製セシメ其ノ授受ヲ明カナラシムルモノトス  
 七 艦隊乗員ノ身分證明書ハ在籍鎮守府ニ於テ必要ニ應ジ之ヲ發行シ前各號ニ準ジ調製交付スルモノトス  
 八 身分證明書ヲ携帶セザル者ノ構門通過及身分證明書發行ノ細目ニ關シテハ當該鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ定ムル所ニ依ル  
 九 別紙第二ノ身分證明書ハ毎年六月及十二月各廳長之ヲ檢査シ檢査期日等ヲ記載セル檢査ノ證（別紙第三様式）ヲ同身分證明書ノ表面ニ捺印スルモノトス

十 別紙第二ノ身分證明書ハ適時更新スルモノトス此ノ場合用紙ノ地色ノ變更ヲ爲スコトヲ得  
 前項ノ場合ニハ調製見本ヲ添へ關係各部ニ速ニ通報スルモノトス  
 十一 別紙第二ノ各身分證明書發行番號ハ更新スル毎ニ一貫番號トシ其ノ發行年ノ數字ヲ番號ノ上ニ冠スルモノトス  
 十二 海軍省構門（海軍施設本部ノ構門ヲ含ム）通行取締等ニ關シテハ海軍省副官ノ定ムル所ニ依ル  
 十三 現ニ使用中ノ身分證明書（吳鎮守府及舞鶴鎮守府發行ノモノ）ハ次期更新ノ時迄本規定ノ身分證明書トシテ之ヲ使用スルコトヲ得  
 （別紙添）

經給機密第九〇號  
 昭和十八年四月一日  
 海軍省經理局長  
 各鎮守府、警備府參謀長殿  
 工員又ハ鑛員ノ初給賃錢及臨時昇降級ニ關スル件通牒  
 昭和十六年官房第五一四四號ニ依ル首題ノ件ハ左記各號ニ依リ處理相成度

海軍公報（部内限）第四千三百六十號 昭和十八年四月八日

追テ昭和十六年艦本機密第八號ノ九七五九ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

第一 適用範圍

内地所在ノ海軍工作廳、海軍燃料廠、海軍建築部、海軍港務部其ノ他各廳所屬ノ年齢十二歳以上四十歳未滿ノ工員又ハ鑛員

第二 未經験又ハ鑛職ノ區別

左ノ各號ノ一ニ該當セザル者ハ之ヲ未經験ノ工員又ハ鑛員トシ其ノ他ノ者ハ有鑛職ノ工員又ハ鑛員トス  
一 採用後ニ於テ從事スル業務ト同一又ハ同種ノ業務ニ三月以上從事シタル鑛職アルモノニシテ其ノ修得セル技能鑛職ヲ採用後從事スル業務ニ利用シ得ル者

二 前號ノ外工場、鑛山又ハ事業場ニ於テ六月以上勞働ニ從事シタル鑛職アル者  
三 工業又ハ鑛業ニ關スル國立若ハ公立ノ養成施設ニシテ三月以上ノ修業期間ヲ有スルモノノ課程ヲ修了シタル者  
四 工業又ハ鑛業ニ關スル學校ニ於テ二年以上學修シタル者

五 前號ノ外國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ四年以上トスル學校若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トシ修業年限ヲ二年以上トスル學校又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ヲ修了シタル者

六 昭和十四年厚生省告示第九號ノ檢定若ハ試驗ニ合格セル者又ハ同號ノ免許ヲ受ケタル者

前項第一號ノ同種業務ノ範圍ハ概ネ昭和十六年七月厚生省告示第三一〇號ニ依ル  
工場、鑛山又ハ事業場ニ附屬スル養成施設ニ於テ養成セラレタル者ニ付テハ第一項第一號又ハ第二號ニ依ル

第三 初給賃錢ノ制限

一 賃金統制令ニ基キ定メラレタル公定賃金ト比較スベキ初給賃錢トハ海軍工員規則ニ定ムル夜業加給、特殊事業加給及特殊時間加給ヲ除キタル賃錢及諸加給トス但シ勤務精勵ナル者、勤務ノ成果優秀ナル者等ニ對シテ特ニ獎勵加給ヲ增加支給スル必要アル場合ニハ之ヲ諸加給ヨリ控除スルコトヲ得  
二 制限ヲ爲スベキ期間ハ採用ノ日ヨリ起算シ三月トス

三 工員又ハ職員ノ前號ノ期間内ニ於ケル賃錢及諸  
 加給(服業時間十時間トシテ計算シタル場合第一  
 號ニ該當スルモノ)ノ日收(稼高拂制ニ在リテハ  
 月收)ガ當該地方ノ最低賃金ヲ下ラズ且最高初給  
 賃金(未經験者以外ノ者ニ對シテハ當該地方ノ同  
 一業種)ヲ超ヘザル如ク相當ノ初給賃錢等級又ハ  
 稼高拂賃錢ノ單價ヲ定ムルモノトス

四 天災事變ニ際シ又ハ左ニ掲グル場合ニ於テ前號  
 ニ依リ難キトキハ情ヲ具シ協議スルモノトス

(一) 作業ノ性質上必要アルトキ  
 (二) 技能特ニ優秀ナル者アルトキ  
 (三) 其ノ他特別ノ事由アルトキ

第四 經驗年數ノ算定  
 經驗年數ノ算定ハ概ネ昭和十六年七月厚生省告示第  
 三一號ニ依ル

第五 臨時昇降級

一 官房第五一四四號中第二號ニ依ル臨時昇降級  
 第三第三號ノ範圍内ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

二 官房第五一四四號中第三號ニ依ル臨時昇降級ハ  
 前號ニ依ル臨時昇級ヲ行ハザル場合ニ限り地方賃  
 金ノ實情ニ應ジ採用三月以後其ノ直後ノ定期昇級

期迄ニ臨時昇級ノ必要アルトキ情ヲ具シ協議ノ上  
 實施スルコトヲ得

第六 雜件

一 以上ノ外賃金統制令及同附屬ノ法令ノ趣旨ニ依  
 ルモノトス

二 現行ノ各應初給賃錢標準(內規)ハ可及的變更  
 セザル方針ニ依ルモ己ムヲ得ズ變更セントスル場  
 合ハ協議ノ上實施スルモノトス

三 第三第四號及前號ノ規定ニ依ル協議ハ海軍省經  
 理局長及各所掌區分ニ從ヒ海軍艦政本部長、海軍  
 航空本部長若ハ海軍施設本部長宛連名トナスモノ  
 トス

經豫機密第三號ノ三八  
 昭和十八年四月一日  
 海軍省經理局長

自然關係各支出官  
 關係各資金前渡官吏 殿  
 第四艦隊ノ官衙ノ經費支辨科目ニ關スル  
 件通牒  
 第四艦隊ノ官衙ノ經費ハ四月一日ヨリ艦隊經費支辨ト  
 セラルルモ之ガ支辨科目ハ普通經費支辨當時ト同様ニ

海軍公報(部内限)第四千三百六十號 昭和十八年四月八日 三一九

付了知相成度

航本機密第四三五九號

航空發動機ノ名稱並ニ製造番號附與様式左ノ通定ム  
本様式ハ昭和十八年四月一日以降製造ノ制式、實驗並  
ニ試製發動機ニ適用スルモノトス

昭和十五年航本機密第五六三四號ハ之ヲ廢止ス  
昭和十八年四月二日

海軍航空本部長 塚原二四三

航空發動機ノ名稱並ニ製造番號附與様式

一 航空發動機ノ名稱様式

(一) 制式發動機及實驗發動機ノ名稱

「△△」發動機「×○」型

(例) 金星發動機四五型

(註) 「△△」……發動機ノ種別ヲ示ス

(イ) 「×○」……數字ニテ型式ヲ表示

シ、最初ノ數字「×」ハ同  
種類ノ發動機ニテ重要ナル  
構造性能ノ相違ヲ順序ニ表  
示シ、最後ノ數字「○」ハ  
其他ノ構造ノ變更ヲ順序ニ

(二) 試製發動機ノ名稱

(1) 制式用試製發動機

「○△×□◎」發動機

(例) MK4RF發動機

(註) (イ) 「○」……製造所別ヲ「ローマ」字ニ

テ表示ス

(例)

|   |   |   |     |
|---|---|---|-----|
| Y | 空 | 技 | 廠   |
| M | 三 | 菱 |     |
| N | 中 | 島 |     |
| A | 愛 | 知 |     |
| I | 石 | 川 | 島   |
| G | 日 | 立 | (航) |

(ロ) 「△」……發動機様式ノ顯著ナル特徴

表示スルモノトス

(ハ) 型式ノ最初ノ數字「×」ヲ等シクスル  
發動機ノ總稱ハ左ノ例ニヨル

(例) 四一型ヨリ四九型ニ至ルモノヲ四  
〇型ト總稱ス



「ローマ」字ニテ表示ス

(例)

|       |      |    |    |
|-------|------|----|----|
| H     | D    | E  | K  |
| 補助發動機 | ダイゼル | 液冷 | 空冷 |

(ハ) 「X」……「アラビヤ」數字1乃至99ヲ以テ發動機型式大別ヲ表示ス

(ニ) 「□」……發動機型式ノ變種別ヲ「ローマ」字ニテ表示ス

(ホ) 「◎」……「□」ニテ表示シ難キ特徴アル變種ヲ特ニ必要ヲ認メタル場合ニ限リ「ローマ」字ニテ補足表示ス

(2) 研究用試製發動機  
「○○」研第「X」號發動機  
(例) 三菱研第一號發動機  
(註) (イ) 「○○」……製造所ヲ表示ス  
(ロ) 「X」……「一、二、三……」ノ數字一

字ヲ以テ表示ス

(三) 特用發動機ノ名稱  
其都度之ヲ定ム

二 航空發動機ノ製造番號様式  
(一) 制式發動機又ハ實驗發動機ノ製造番號  
「○○」第「X○○……」號  
(例) 中島第四一三〇五號  
(註) (イ) 「○○」……製造所名ヲ示ス  
(ロ) 「X○○」……發動機型式ヲ示ス  
(ハ) 「……」……發動機ノ實際番號ヲ示シ「X○○」ヲ同ジクフル型式毎ニ一貫番號ヲ附ス

(二) 試製發動機ノ製造番號  
試「……」號  
(註) 「……」……實際ノ製造番號ヲ示ス  
(參照) 海軍航空法規類集二八七頁

**○ 辭令**

海軍中佐 和田 雄四郎  
通信防衛對策委員會委員(幹事)ヲ命ス(胡海軍省)

海軍公報(部内限) 第四千三百六十號

昭和十八年四月八日

三二一

|   |   |
|---|---|
| <p>第三課勤務ヲ命ス<small>(海軍省兵備局)</small><br/>海軍主計大尉 高峰 明吉</p> <p>第十一特別工作部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス<br/>海軍主計兵曹長 木下 三郎</p> <p>右同臨時分任出納官吏ヲ免ス<br/>海軍主計中尉 加藤 光明</p> <p>第十一特別工作部香港分遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(以上一四支出官 海軍省經理局長)</p> | <p>○雜款</p> <p>○將旗掲揚<br/>第十四戰隊司令官ハ將旗ヲ那珂ニ掲揚セリ</p> <p>○司令驅逐艦變更<br/>第十六驅逐隊司令ハ三月三日司令驅逐艦ヲ雪風ニ變更セリ</p> <p>○司令艇變更<br/>第一監視艇隊司令ハ四月五日司令艇ヲ神津丸ニ變更セ</p>                     |
| <p>○郵便物發送先<br/>自今左ニ依リ發送相成度<br/>神奈川縣横須賀市谷戸六番地<br/>浦賀局氣付 浦賀海軍監督官事務所</p> <p>司令、隊宛<br/>隊機關長、軍醫長、主計長宛 雪風<br/>(第十六驅逐隊) 天津風</p> <p>高雄郵便局氣付 (驅逐艦朝顔)</p>   | <p>○郵便物再送<br/>三月十六日神戸、同十七日門司發其隆向ケ商船ニ搭載ノ郵便物ハ亡失セシニ付右商船ニ搭載見込ノモノハ再送方可然取計相成度 (馬公警備府)</p> <p>○開隊<br/>鹿兒島海軍航空隊ハ四月一日開隊セリ<br/>追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度<br/>鹿兒島市郡元町 鹿兒島海軍航空隊</p> |

|                                       |  |  |   |   |  |
|---------------------------------------|--|--|---|---|--|
| <p>宿毛海軍航空隊ハ四月一日高知縣幡多郡宿毛町宇須々木ニ開隊セリ</p> | <p>○事務開始<br/>第三海軍技手養成所事務ハ四月一日第一海軍燃料廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ</p>          | <p>第二十五號掃海艇艦裝員事務所ハ四月一日吳海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ<br/>追テ郵便物發送先ハ<br/>吳海軍工廠内<br/>第二十五號掃海艇艦裝員事務所</p> | <p>○殘務整理<br/>第十二日正丸殘務整理事務ヲ吳海兵團内ニテ行フ</p> | <p>○事務所移轉<br/>相模海軍工廠(假稱)設立事務所ヲ四月一日神奈川縣高座郡寒川町一ノ宮平塚海軍技術研究所化學研究部一ノ宮作業場内ニ移轉セリ</p> | <p>○事務所撤去<br/>驅逐艦新月艦裝員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ<br/>追而郵便物發送先ハ<br/>吳郵便局氣付 驅逐艦新月<br/>宿毛海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ヲ四月一日撤</p> |
| <p>去セリ</p>                            | <p>第十五魚雷調整班事務所ハ四月四日撤去セリ<br/>追テ郵便物發送先ハ<br/>吳郵便局氣付 七貳壹 七七七</p> | <p>○訂正<br/>三月二十二日公報 本報内限 辭令欄一二六頁下段十六行目「芥川暉雄」ノ發令月日「三月二十二日」ハ「昭和十七年十一月一日」ニ訂正</p>          | <p>○本日普通公報發行セズ</p>                      |   |  |

海軍公報(部内限) 第四千三百六十號 昭和十八年四月八日

別紙第一

一 第 式 様

昭和 年 月 日 交付 生 年 月 日 名

海 軍 省

省海 印

第 號

本 所 籍 證

現 住 所

勤 務 所

官 職 係 名

大 印

(八割)

赤色(幅一割)

地名「白」

(六割)

(軍人、文官、同待遇者)  
 (嘱託者、當時各職ニ於テ勤務スルモノ)  
 赤色(幅一割)

而裏二第、一第式様

名刺型半切大

高 取

本人所屬

ノ 印

注意

一、記載事項ニ變更ヲナストキハ  
 直ニ訂正ヲ受ケルコト

二、遺失ノ他ニ受ニナラズトキハ  
 必ズ返納スルコト

三、本證ヲ他人ニ貸シ又ハ隠匿ニ寄  
 キ直ニ受ケルコト

四、本證ハ可成バ入ニ納メ大印ニ  
 取替フコト

(八割)

地名「白」

(六割)

二 第 式 様

昭和 年 月 日 交付 生 年 月 日 名

海 軍 省

省海 印

第 號

本 所 籍 證

現 住 所

勤 務 所

官 職 係 名

大 印

(八割)

綠色(幅一割)

地名「白」

(六割)

(昭和十八年四月八日海軍公報(部内限))  
 (雇員、傭人、工員)  
 綠色(幅一割)

三 第 式 様

第 身 分 證 號  
 (官氏名)  
 右者本  
 證明ス  
 昭和 年 月 日  
 所轄長官 氏  
 名 圖  
 職員タルコトヲ  
 年 月 日生

草色(市一糎)

(判任文官、同待遇者)

一 第 式 様

第 身 分 證 明 書 號  
 (官氏名)  
 右者本  
 證明ス  
 昭和 年 月 日  
 所轄長官 氏  
 名 圖  
 職員タルコトヲ  
 年 月 日生

赤色(市一糎)

地色「白」

八糎

六糎

別紙第二

(准士官以上)

四 第 式 様

第 身 分 證 號  
 (職氏名)  
 右者本  
 證明ス  
 昭和 年 月 日  
 所轄長官 氏  
 名 圖  
 勤務員タルコトヲ  
 年 月 日生

茶色(市一糎)

(雇員、傭人、工員)

二 第 式 様

第 身 分 證 明 書 號  
 (官氏名)  
 右者本  
 證明ス  
 昭和 年 月 日  
 所轄長官 氏  
 名 圖  
 職員タルコトヲ  
 年 月 日生

紫色(市一糎)

(昭和六年四月八日海軍公報(部内限))  
(高等文官、同待遇者)

而裏四 三 二 一 第式様

|   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| <p>注意</p> <p>一 本證ハ海軍構門又ハ各艦構門通過ノ際携帶スルモノトス</p> <p>二 本證ヲ亡失シタルトキハ速ニ所轄長ニ届出ツルモノトス</p> <p>三 本證ハ他人ニ貸與スベカラズ</p> <p>四 不要ニ歸シタル際ハ所轄長ニ返却スベシ</p> <p>〇〇鎖守(警備)府</p> | <p>寫眞添附用餘白</p> <p>(様式第一ハ寫眞ヲ添附セズ)</p> |
|---|--------------------------------------|

而裏 五 第式様

|  |
|--|
| <p>注意</p> <p>一 本證ハ海軍構門又ハ各艦構門通過ノ際携帶スルモノトス</p> <p>二 本證ヲ亡失シタルトキハ速ニ所轄長ニ届出ツルモノトス</p> <p>三 本證ハ他人ニ貸與スベカラズ</p> <p>四 不要ニ歸シタル際ハ所轄長ニ返却スベシ</p> |
|--|

五 第式様 (色桃)

|                                |  |                          |
|--------------------------------|--|--------------------------|
| <p>昭和 年 月 日</p> <p>〇〇鎖守府 團</p> | <p>第 號</p> <p>身分證明書</p> <p>丸乗組</p> <p>職名 氏名</p> <p>監督官又ハ主任長印</p> | <p>右海軍徵備船乗組員ナルコトヲ證明ス</p> |
|--------------------------------|--|--------------------------|

(昭和十八年四月八日海軍公報(部内限))  
(徵備船船員)

2373

2372

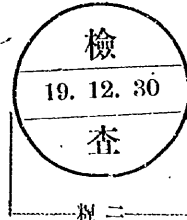
第一様式

|     |                               |   |
|-----|-------------------------------|---|
| 注 意 | 寫眞添附用餘白<br>(様式第一ハ寫眞ヲ<br>添附セズ) |   |
|     | 特 殊                           | 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 |
|     | 本 構                           | 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 海軍中尉 |

第五様式 (桃色)

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 監 督 官 又 ハ 主 務 廳 長 印 | 第 一 號   |
|                     | 身分證明書   |
| 職 名 氏 名             | 丸 乘 組   |
| 右海軍徵備船乘組員ナルコトヲ證明ス   | 年 月 日 生 |
| 昭和 年 月 日            | 年 月 日 生 |
| ○ 鎖 守 府 團           |         |

(昭和十八年四月八日海軍公報(部内限)  
(徵備船船員))



別紙第三様式(文字ハ例)

(限 内 部)

2374

海軍公報 (部内限) 號外

○判決

判決

昭和十八年四月八日(木)  
海軍大臣官房

海軍公報 (部内限) 號外



2375

海軍公報 (部内限) 號外



2376

海軍公報 (部内限) 號外

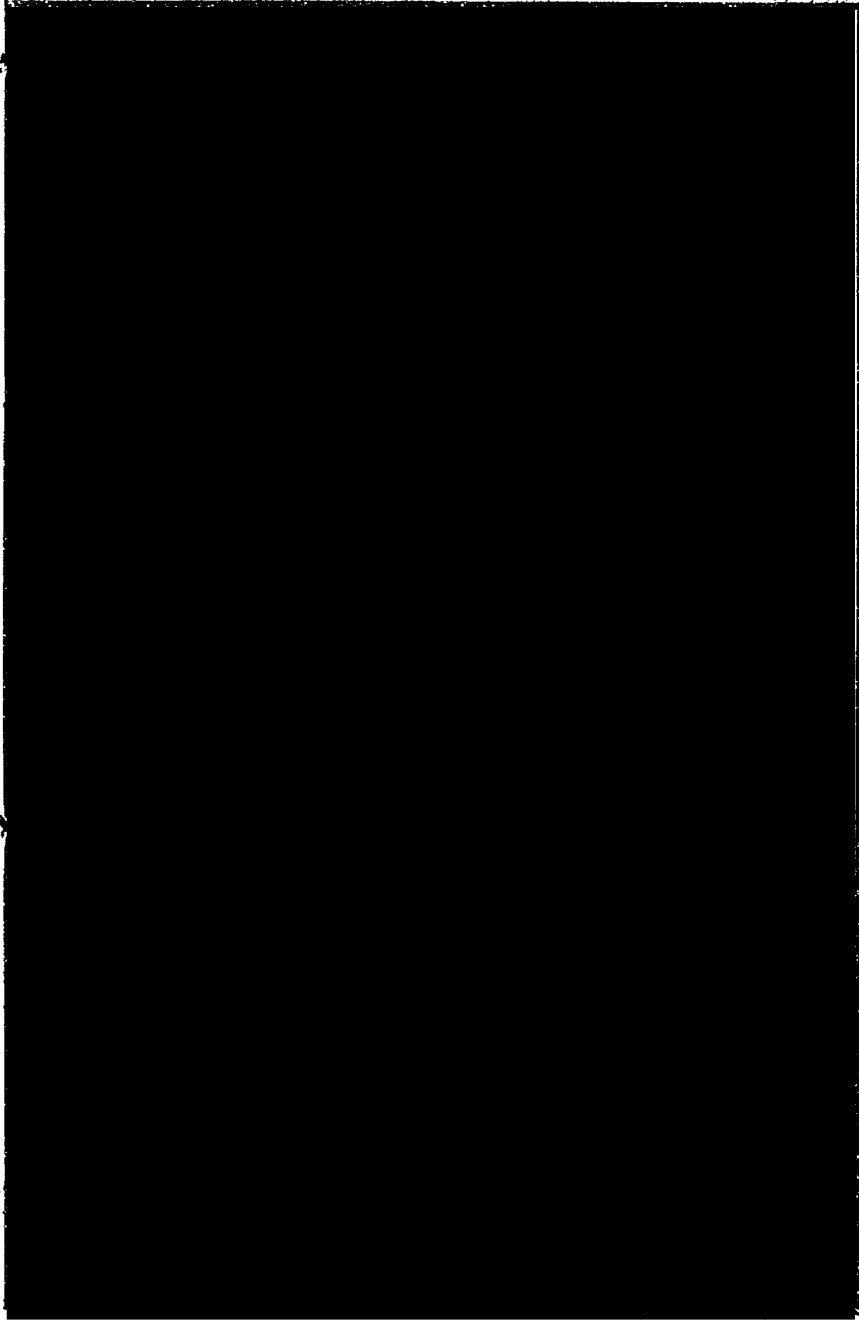
三

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

2377



海軍公報 (部内限) 號外

四

2378

海軍公報  
(部内限)  
號外

五

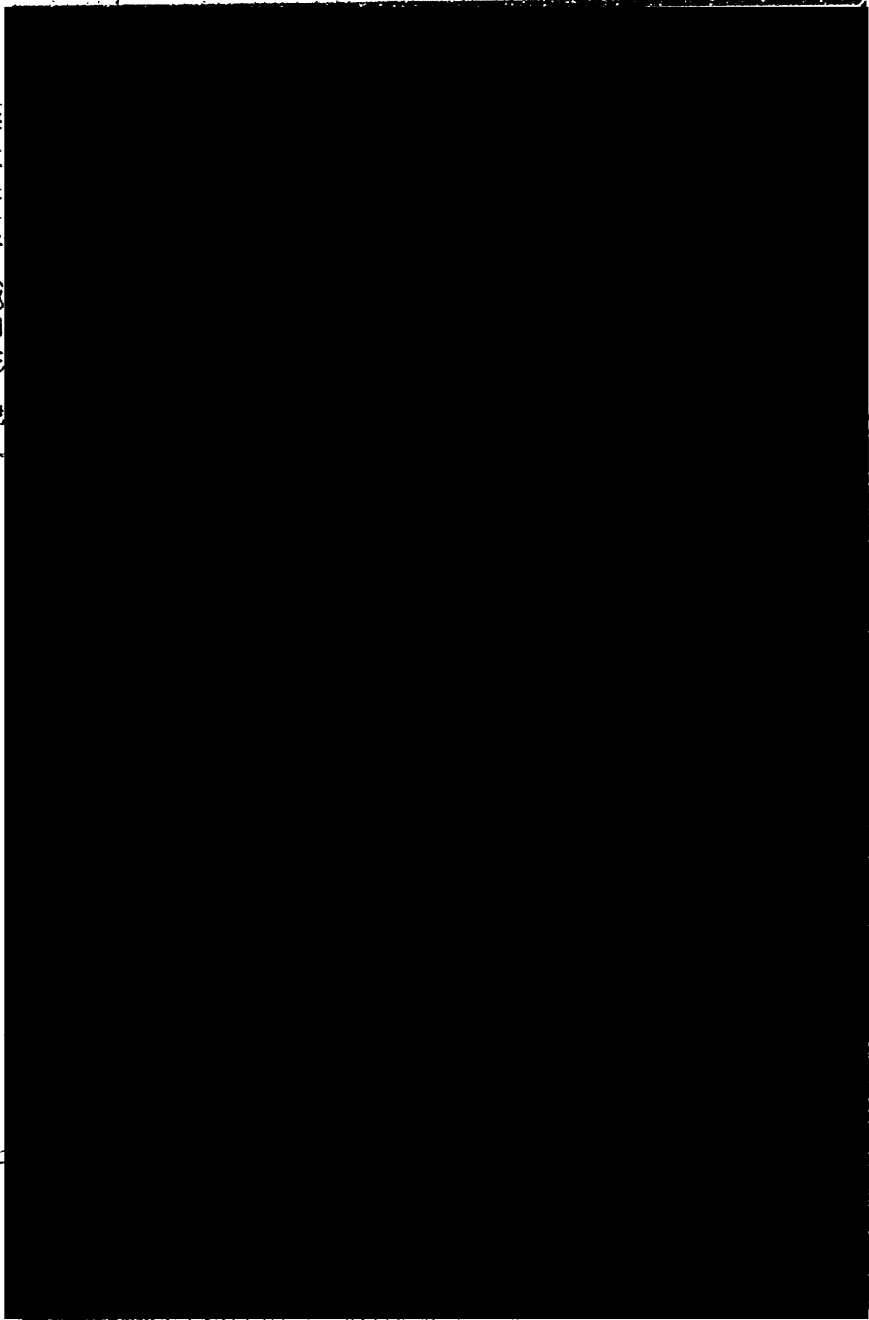
2379

海軍公報 (部内限) 號外

六

2380

海軍公報 (部内限) 號外



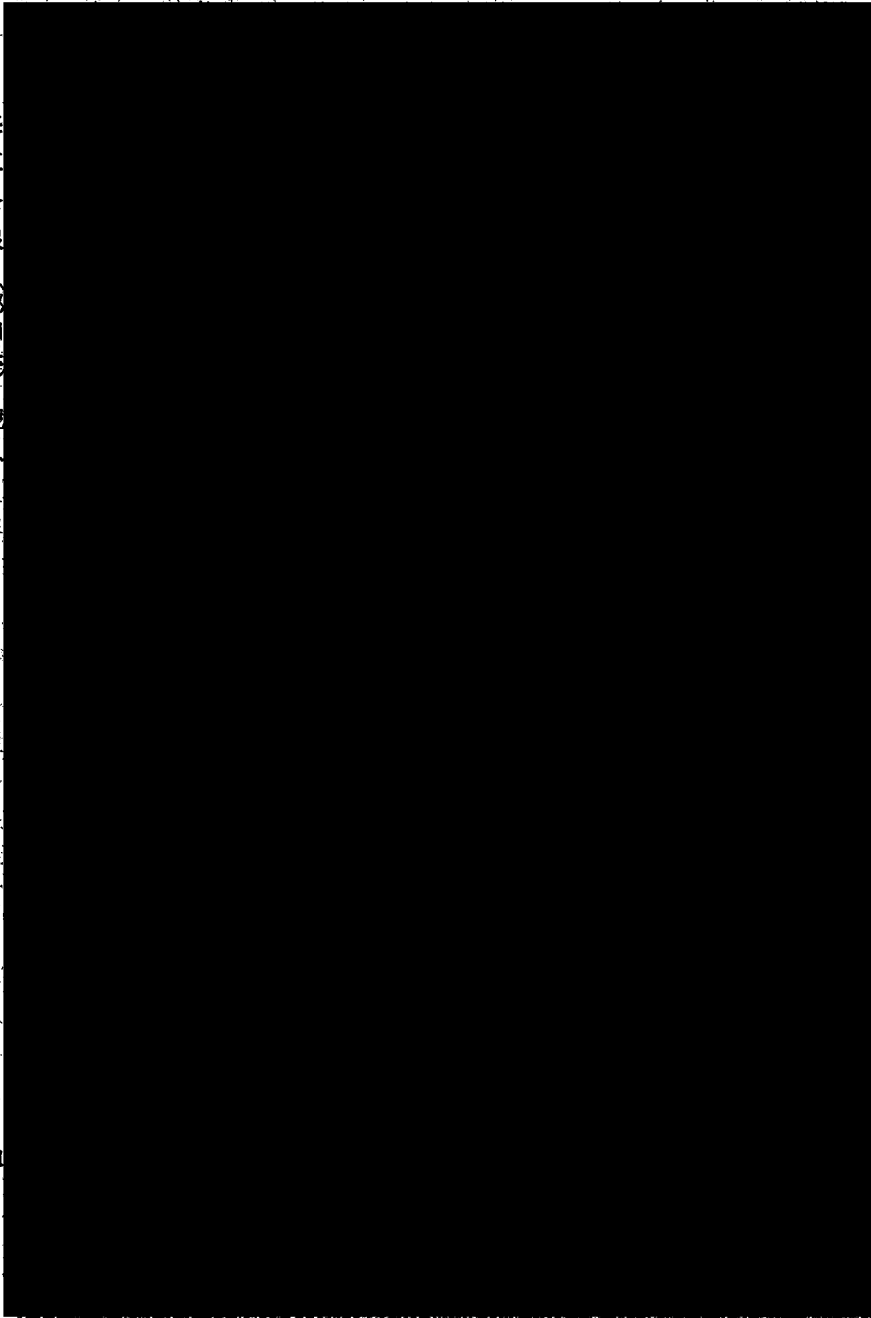
七

2381

海軍公報 (部内限) 號外

八

海軍公報  
（部内限）  
號外



九

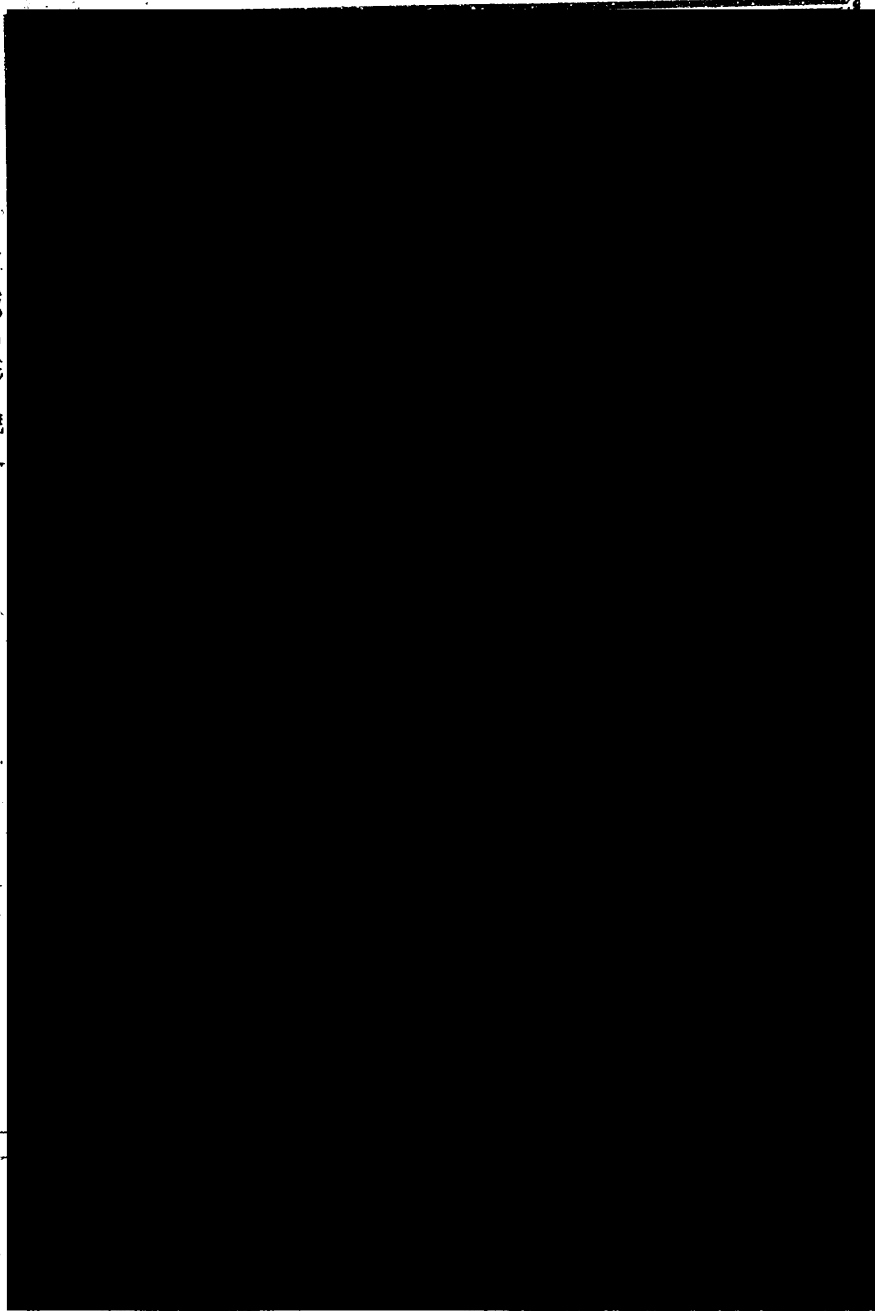


2383

海軍公報 (部内限) 號外

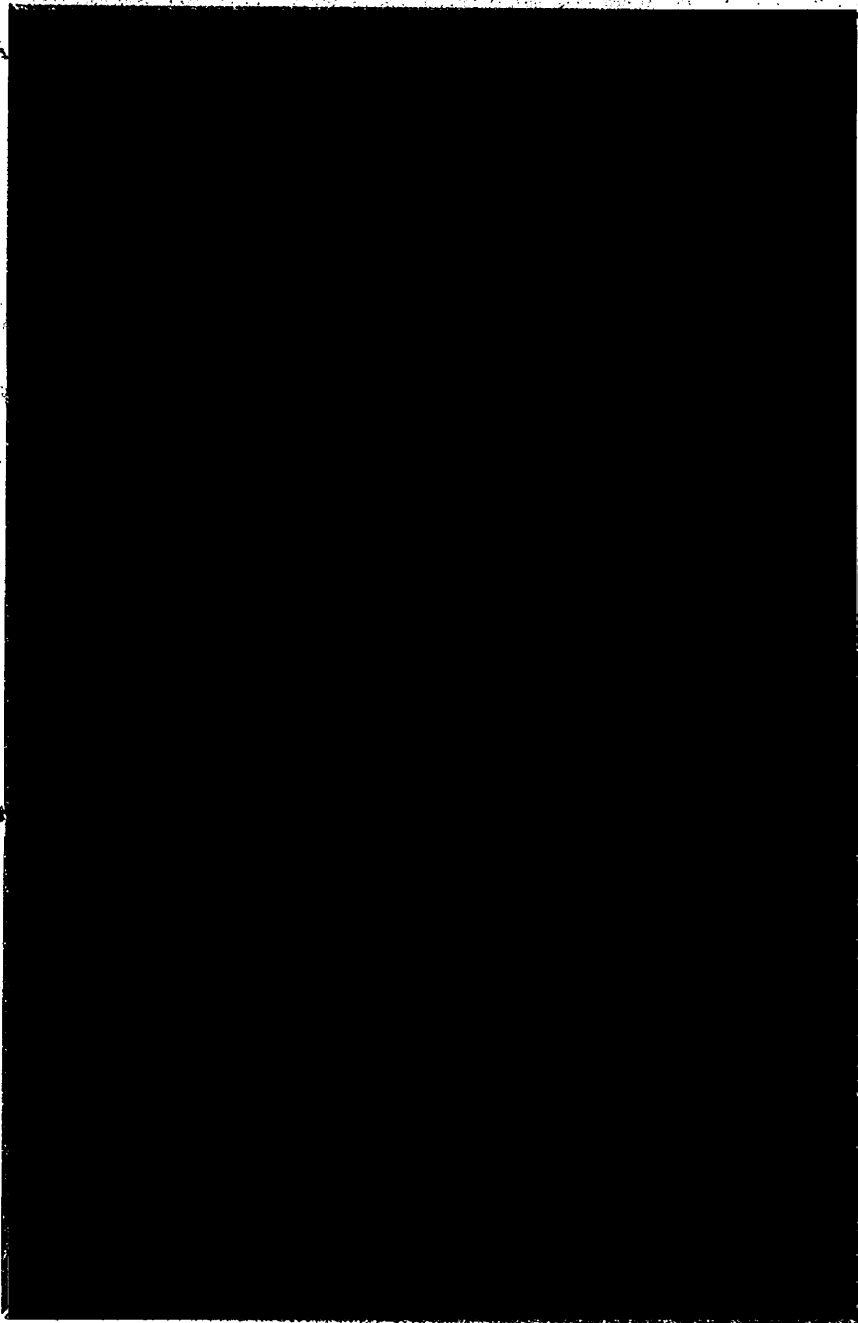
一〇

海軍公報 (部内限) 號外



2385

~~2384~~



海軍公報 (部内限) 號外

二三

2386

海軍公報 (部内限) 號外

一三

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

2387

海軍公報 (部内限) 號外

一四

海軍公報 (部内限) 號外

一五

2389

海軍公報 (部内限) 號外

一六

2390

海軍公報 (部内限) 號外



一七



途種別略號表示方制定ニ關スル件通牒

海軍私有貨車ノ所有者名及特殊貨車ノ用途種別略號表示方左記ノ通定メラル

記

| 1. 所有者名略號 | 所有者名  | 略號 |
|-----------|-------|----|
| 第一海軍燃料廠   | カ イ イ | ホ  |
| 第二海軍燃料廠   | カ カ イ | ホ  |
| 第三海軍燃料廠   | カ カ イ | ホ  |
| 第一海軍火藥廠   | カ カ イ | ホ  |
| 第二海軍火藥廠   | カ カ イ | ホ  |
| 第三海軍火藥廠   | カ カ イ | ホ  |
| 佐世保海軍軍需部  | サ ホ   | ホ  |
| 吳海軍軍需部    | ク     | ホ  |
| 横須賀海軍軍需部  | ヨ     | ホ  |
| 大湊海軍軍需部   | オ     | ホ  |
| 舞臺海軍軍需部   | マ     | ホ  |
| 第二海軍航空廠   | ニ     | ホ  |
| 第十一海軍航空廠  | シ     | ホ  |
| 第二十一海軍航空廠 | ニ     | ホ  |

2. 特殊貨車、用途種別略號

| 用途種別   | 略號 |
|--------|----|
| 揮發油    | キ  |
| 濃硫     | セ  |
| 發煙硫    | リ  |
| 液體アソニエ | ハ  |
| 稀硫     | ツ  |
| アタノ一曹  | リ  |
| 性      | ア  |
| 曹      | ソ  |
| 性      | ニ  |
| 曹      | カ  |
| 性      | カ  |
| 曹      | カ  |

○ 辭令

大坪 正治  
軍令部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(三六〇軍令部)

兼第二課勤務ヲ免ス(海軍省兵備局)

海軍中佐 山川 周吉  
海軍中佐 矢野 京松(佐工廠)

海軍中佐 岡 寅雄(艦本)  
海軍中佐 上田 俊二(同)

# 海軍公報

(部内限) 第四千三百六十一號

海軍大臣官房

昭和十八年四月九日(金)

## ○通牒

經豫機密第三號ノ四一

昭和十八年四月七日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

工作廳(特設廳ヲ除ク)ニ於ケル臨時軍事費豫算年度整理ニ關スル件申改正ノ件通牒

一月二十九日經豫機密第三號ノ九首題通牒申別紙第二ニ左ノ備考ヲ追加ス

備考

- 本調書ハ(イ)艦政本部主務豫算ニ屬スルモノト(ロ)造修主務豫算ニ屬スルモノト(ハ)航空本部主務豫算ニ屬スルモノト各別紙ニ調製シ(イ)ハ艦政本部ニ、(ロ)及(ハ)航空本部ニ送付スルコト

經本機密第一號ノ四四三一

昭和十八年四月八日

海軍公報(部内限) 第四千三百六十一號

昭和十八年四月九日

三二五

關係廳長殿

海軍艦政本部總務部長

四十疋發煙筐取扱ニ關スル件照會

内令提

寒地ニ於ケル首題兵器取扱上左記事項ニ關シ注意相成度

記

- 一 冷寒地ニ長時間放置スル場合ハ煙藥中ニ無水硫酸ノ結晶ヲ生ジ再ビ加温スルモ發煙セザルヲ以テ零下二十度以下ノ場所ニ貯藏スベカラズ
- 二 但シ使用直前數時間ナラバ零下三十度以下ノ場所ニ放置スルモ噴煙ス

海運機密第三一二號

昭和十八年四月一日

海軍運輸部長

海軍各廳長殿

海軍私有貨車ノ所有者名及特殊貨車ノ用

(各通)

同 田中万喜夫(伊完潜)  
海軍少佐 鈴木清臣(佐工廠)  
海軍大尉 小林茂雄(伊完潜)  
同 森田良二(同)

(各通)

伊號第三十九潜水艦審議委員ヲ命ス  
海軍大佐 岡田有作(艦本)  
同 松尾義保(神戸監)  
海軍大尉 荒井淳(呂二〇八)  
海軍中尉 松下義男(同)

(各通)

呂號第八潜水艦審議委員ヲ命ス  
海軍大佐 松尾義保(神戸監)  
海軍中佐 奥田増藏(艦本)  
海軍大尉 上杉一秋(呂二〇九)  
海軍中尉 小川正雄(同)

○ 雜 款

○郵便物發送先  
自今左ニ依リ發送相成度  
關東州旅順郵便局氣付 海軍篠崎部隊

(舞鶴海軍航空隊派遣隊)

○書類發送ニ關スル件照會  
本府所屬各廳ハ交通至難ノ各地ニ散在シ加フルニ之ガ  
交通ニハ今尙相當ノ警戒兵力ヲ要スル狀況ニシテ島内  
ニ於ケル書類ノ送達意ノ如クナラザルニ付之ガ費消時  
ヲ少カラシムル爲諸人事關係及至急書類ハ自今航空便  
ニテ送付相成度  
(海 南 警 備 府)

○開隊

出水海軍航空隊ハ四月一日開隊セリ  
追テ郵便物發送先ハ  
鹿兒島縣出水郡出水町 出水海軍航空隊

○事務所移轉

知多海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ四月五日追  
濱海軍航空隊ニ移轉セリ

○事務所撤去

隠岐艦裝具事務所ハ三月二十八日撤去セリ  
追テ郵便物發送先ハ  
横須賀局氣付 海防艦隱岐

出水海軍航空隊(假稱)設立準備事務所ハ三月三十一  
日撤去セリ

海軍公報(部内限) 第四千三百六十一號 昭和十八年四月九日

海軍公報(部内限) 第四千三百六十一號 昭和十八年四月九日

三二八

○正誤(済)  
 四月五日附公報(部内限)辭令欄三〇〇頁上段一二行  
 及一四行目ノ「馬公警備府」ハ「高雄警備府」ノ誤  
 ○本日普通公報發行セズ

# 海軍公報

(部内限) 第四千三百六十二號

昭和十八年四月十日(土)

海軍大臣官房

## ○通牒

經監一機密第八號ノ六

昭和十八年四月五日

海軍省經理局長

各海軍經理部長  
各特設海軍經理部長  
各支 出 官 吏  
各 出 納 官 吏

計算證明等ノ取扱ニ關スル件通牒

昭和十七年經監一機密第一一八號通牒(十一月二十五日海  
又ハ海軍機密會計法規)首題ノ件中計算證明等取扱要領第  
類集六四ノ四頁參照) 五號ノ次ニ左記ノ如ク追加致候

### 記

六 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ付テハ海軍會計監  
督規程ニ定ムル監督ノ區分ニ從ヒ海軍省經理局長又  
ハ海軍經理部長若クハ特設海軍經理部長ハ事情已ムヲ  
得ザルモノト認メタル場合ニ限リ計算證明上之ヲ精

算アリタルモノト看做シテ整理セシムルコトヲ得此  
ノ場合ニ於テハ旅費精算證書又ハ旅費精算通知票  
ニ代ヘ其ノ事情ノ要領(軍ノ機密ニ屬スル事項ヲ除  
ク)ヲ記載シタル說明書(計算證明者署名捺印スル  
コト)ヲ提出スルコト

(一) 艦船沈没等ノ事故ニ因リ關係帳簿書類ヲ亡失毀  
損シタルニ由リ概算拂ヲ爲シタル旅費ノ未精算ナ  
ルモノノ内容不明ト爲リ之ガ精算ヲ爲スコト不可  
能若ハ極メテ困難ナルモノ又ハ到着應ニ於テ精算  
ヲ爲スベキ旅費ニシテ其ノ概算拂ヲ爲シタル應ニ  
於テ旅費精算通知票ノ送付ヲ受クルコト不可能  
若ハ極メテ困難ナルモノ

(二) 旅費ノ概算拂ヲ受ケタル者戦死シタルニ因リ本  
人ノ旅行ノ事實ヲ知ルコト能ハザルニ因リ之ガ精  
算ヲ爲スコト不可能又ハ極メテ困難ナルモノ  
七 外國旅費規則施行細則第十二條第一項ノ規定ニ依  
ル船車馬賃ノ領收書、鐵道船舶ノ賃金表、料金ノ支  
拂ヲ證スベキ書類及海軍外國旅費規則ノ規定ニ依リ

海軍公報(部内限) 第四千三百六十二號

昭和十八年四月十日

三二九

海軍公報(部内限) 第四千三百六十二號 昭和十八年四月十日

宿料、賄料、休憩料、荷物運賃等ノ實費ヲ證明スベキ書類竝ニ外國旅費ニ關シ船待滞在、乗船、下船、寄港、碇泊等旅行ノ事實ヲ證明スベキ書類等ハ作成困難ナルモノニ限リ之ガ提出ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由(軍ノ祕密ニ屬スル事項ヲ除ク)ヲ簡明ニ記載シタル書類(旅行者署名捺印スルコト)ヲ提出スルコト

八 海軍計算證明戰時特例第二條ノ規定ニ依ル通知及報告ハ夫々別紙様式第一及様式第二ニ依ルコト

(別紙様式二葉添)

○ 辭 令

|         |        |
|---------|--------|
| 貳千九百參拾圓 | 山田 兼雄  |
| 貳千九百參拾圓 | 山崎 鶴龜  |
| 貳千八百七拾圓 | 山本 晴次  |
| 貳千八百七拾圓 | 富樫 文也  |
| 貳千七百七拾圓 | 石川 義人  |
| 貳千六百圓   | 福田 育造  |
| 貳千六百圓   | 佐藤 進太郎 |
| 貳千五百貳拾圓 | 大橋 俊一  |

|         |        |
|---------|--------|
| 貳千四百貳拾圓 | 上田 俊一  |
| 貳千參百七拾圓 | 徳久 寛   |
| 貳千參百七拾圓 | 村松 正   |
| 貳千參百七拾圓 | 谷口 雅雄  |
| 貳千參百拾圓  | 今東 壽雄  |
| 貳千參百拾圓  | 石渡 眞   |
| 貳千參百拾圓  | 小河 吉之助 |
| 貳千參百拾圓  | 佐川 實   |
| 貳千參百拾圓  | 旭 芳雄   |
| 貳千參百拾圓  | 関 忠治   |
| 貳千參百拾圓  | 佐藤 茂美  |
| 貳千參百拾圓  | 坂倉 勝彦  |
| 貳千參百拾圓  | 三好 道矢  |
| 貳千參百拾圓  | 齊藤 勝男  |
| 貳千參百拾圓  | 芳賀 博   |
| 貳千參百拾圓  | 高木 榮雄  |
| 貳千參百拾圓  | 福田 久造  |
| 千九百七拾圓  | 梅本 昌夫  |
| 千九百七拾圓  | 望月 孟夫  |
| 千九百七拾圓  | 齋藤 武二  |
| 千九百七拾圓  | 高橋 菊治  |

三三〇



|        |        |
|--------|--------|
| 千四百七拾圓 | 內藤 善太郎 |
| 千四百七拾圓 | 石井 克巳  |
| 千四百七拾圓 | 宍道 洋一  |
| 千四百七拾圓 | 福喜多 學  |
| 千四百參拾圓 | 大津 正春  |
| 千四百參拾圓 | 大久保 寛  |
| 千四百參拾圓 | 村木 忠義  |
| 千參百七拾圓 | 有馬 敬藏  |
| 千參百七拾圓 | 矢島 重義  |
| 千參百七拾圓 | 澤野 實   |
| 千參百七拾圓 | 香川 吾郎  |
| 千參百七拾圓 | 前嶋 耕三  |
| 千參百拾圓  | 横井 重治  |
| 千參百拾圓  | 赤坂 善雄  |
| 千參百圓   | 安藤 猪久男 |
| 千參百圓   | 石井 幸   |
| 千參百圓   | 中島 喜多男 |
| 千參百圓   | 川床 靜雄  |
| 千參百圓   | 古畑 健次  |
| 千參百圓   | 古賀 富五郎 |
| 千參百圓   | 鈴木 進   |

|                          |            |
|--------------------------|------------|
| 千百九拾圓                    | 坂本 三郎      |
| 微用中自今年額(各頭書ノ通)ヲ給ス(海軍省)   |            |
| 燃料政策調査會委員ヲ命ス             | 海軍中佐 山川 貞市 |
| 海軍用語調査委員會委員ヲ命ス           | 海軍少佐 武富 溫興 |
| 購買名簿調査委員會委員ヲ命ス           |            |
| 海軍規格審議會議員ヲ命ス             |            |
| 海軍規格審議會幹事ヲ命ス             |            |
| 陸海軍軍需工業動員協定委員會幹事ヲ命ス(以上同) |            |
| 高等軍法會議判士ヲ免ス              | 海軍大尉 平澤 豊治 |
| 東京軍法會議判士ヲ免ス(九四同)         |            |
| 軍令部出仕海軍大尉                | 松隈 正雄      |
| 特務班班員ヲ命ス(三五軍令部)          |            |
| 軍令部部員海軍中佐                | 源 田 實      |
| 兼第二部第三課勤務ヲ命ス             |            |
| 軍令部出仕海軍中佐                | 鈴木 榮三郎     |
| 兼第二部第三課兼第一部第一課勤務ヲ命ス      |            |



海軍主計中尉 山本 勝孝  
 第三部第八課勤務ヲ命ス(以上<sup>三〇〇</sup>同)

海軍中尉 石樽 信敏

驅逐艦松風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(以上<sup>三〇〇</sup>支出官 海軍省經理局長)

海軍主計兵曹長 田島 勇治

第二十二特別根據地隊ボンチャナツク派遣隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計少尉 山本 美氏

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上<sup>九〇〇</sup>同)

海軍主計少尉 松本 隆芳

驅逐艦松風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

海軍中尉 石樽 信敏

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス(以上<sup>三〇〇</sup>同)

○ 雜 款

○入學試驗施行日時及入學試驗問題發送  
 一、第四十期甲種學生

|      |                |                 |
|------|----------------|-----------------|
| 試驗科目 | 試驗施行期日         | 時 限             |
| 甲種對策 | 昭和十八年五月三十一日(月) | 四時間(自〇八〇〇至一二〇〇) |

二、第三十二期機關學生

|      |                |                 |
|------|----------------|-----------------|
| 試驗科目 | 試驗施行期日         | 時 限             |
| 甲種對策 | 昭和十八年五月三十一日(月) | 四時間(自〇八〇〇至一二〇〇) |

但シ試驗開始時刻ハ所在首席指揮官適宜之ヲ變更スルコトヲ得

三、各入學試驗問題四月七日發送済

(海軍大學校)

海軍公報(部内限)第四千三百六十二號 昭和十八年四月十日

(様式第一) (日本標準規格B5判)

(昭和十八年四月十日公報(部内限)別紙)

認定通知書

出納官吏 職官氏

名

右ハ何々計第何號ヲ以テ報告ニ係ル現金亡失(物品亡失(毀損))ノ件ニ付善良ナル管理者ノ注意ヲ  
怠ラザリシモノト認定シ茲ニ海軍計算證明等戰時特例第二條ノ規定ニ依リ通知ス

昭和 年 月 日

何々海軍經理部長 氏

名 圖

(様式第二) (日本標準規格B5判)

(昭和十八年四月十日公報(部内限)別紙)

昭和 年 月 日

何々海軍經理部長 氏

名 園

海 軍 大 臣 殿

現金亡失(物品亡失(毀損))ニ關スル件報告

何々(出納官吏職官氏名)ノ現金亡失(物品亡失(毀損))ノ件ハ別紙何々計第何號報告書寫ノ通事  
情已ムヲ得ザルモノニシテ出納官吏ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠ラザリシモノト認定致候條茲ニ海  
軍計算證明等戰時特例第二條ノ規定ニ依リ報告致候

(別紙何々計第何號寫添附)

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第四千三百六十三號

昭和十八年四月十二日(月)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房人機密第一二八號

昭和十七年官房機密第一四五四八號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月六日

海軍大臣

表中入校期日、採用員數及修業期間ノ部入校期日昭和十八年六月上旬以降ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

| 修業期間 | 採用員數 |      |      |      |      | 入校期日      |
|------|------|------|------|------|------|-----------|
|      | 計    | 鎮守府鶴 | 鎮守府保 | 吳鎮守府 | 鎮守府賀 |           |
| 同上   | 二一   | 三    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年六月上旬  |
| 同上   | 二一   | 三    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年九月上旬  |
| 同上   | 二一   | 三    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年十二月下旬 |
| 同上   | 二一   | 三    | 六    | 六    | 六    | 昭和五年三月上旬  |

官房人機密第一二九號

昭和十七年官房機密第一一二七五號中左ノ通改正ス

昭和十八年四月六日

海軍大臣

表中入校期日、採用員數及修業期間ノ部入校期日昭和十八年五月上旬以降ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

| 修業期間 | 採用員數 |      |      |      |      | 入校期日      |
|------|------|------|------|------|------|-----------|
|      | 計    | 鎮守府鶴 | 鎮守府保 | 吳鎮守府 | 鎮守府賀 |           |
| 同上   | 二二   | 四    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年五月上旬  |
| 同上   | 二二   | 四    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年八月上旬  |
| 同上   | 二二   | 四    | 六    | 六    | 六    | 昭和六年十二月下旬 |
| 同上   | 二二   | 四    | 六    | 六    | 六    | 昭和五年二月下旬  |

海軍公報(部内限) 第四千三百六十三號

昭和十八年四月十二日

三三五

海軍公報(部内限)第四千三百六十三號

昭和十八年四月十二日

三三六

(参照) 昭和十七年九月七日及同十二月十日奉閣

官房人機密第一三〇號

左表ニ依リ海軍通信學校特修科學生ヲ採用ス

昭和十八年四月六日

海軍大臣

| 採用資格  | 特修科目 | 入校時期      | 採用員     |        |      |        |       |
|---|------|-----------|---------|--------|------|--------|-------|
|   |      |           | 探用      | 用      | 員    | 數      |       |
| 掌電信兵、掌砲兵又ハ掌測的兵、掌信號兵出身ノ特務士官又ハ准士官ニシテ電波探信儀ニ就キ修習セシムルニ適スル者 | 電測術  | 昭和十八年五月中旬 | 鎮守府出身別  | 横須賀鎮守府 | 吳鎮守府 | 佐世保鎮守府 | 舞鶴鎮守府 |
|   |      |           | 掌電信兵出身者 | 四      | 三    | 三      | 二     |
|   |      |           | 掌測的兵出身者 | 一      | 一    | 一      | 一     |
|   |      |           | 掌信號兵出身者 | 一      | 一    | 一      | 一     |

| 考  | 備 | 計    |     |     |
|--|---|------|-----|-----|
|  |   | 修業期間 | 約四月 | 約六月 |
| 横須賀、吳及佐世保鎮守府ヨリ採用スル掌電信兵出身者ニハ各一名宛大(中)尉ヲ充ツルモノトス |   | 六    | 六   | 六   |

官房經第四三七號

大東亞戰爭ニ關シ陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタル文官等ノ俸給等ノ補給ニ關シ左ノ通定ム

昭和十八年四月九日

海軍大臣

一 海軍ノ文官同待遇者、囑託者、雇員、傭人及工(傭)員ニシテ在籍ノ儘徵集又ハ召集ニ依リ軍人(學生生徒ヲ含ム以下之ニ同ジ)トシテ陸海軍ニ於テ俸給(學生生徒ノ手當ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ受クルモノノ陸海軍ニ於テ受クル俸給ノ額文官同待遇者、囑託者、雇員、傭人及工(傭)員ノ俸給、給料(報酬ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ賃錢(基本賃錢ノミ以下之ニ同ジ)ノ額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ補給ス

二 前號ノ補給額ハ徵集又ハ召集中陸海軍ニ於テ受ク  
ル俸給ト右ト同一期間内在籍屬ニ於テ支給スベカリ  
シ俸給、給料又ハ賃錢ノ額トノ差額トス

三 在籍屬ニ於テ徵集又ハ召集中ノ軍人俸給ト對比ス  
ベキ俸給、給料及賃錢ハ左ニ依ル

(イ) 召集セラレタルトキハ俸給、給料又ハ賃錢ノ全  
額

(ロ) 徵集セラレタルトキハ文官同待遇者ニ在リテハ  
休職俸給、囑託者、雇員、傭人及工(贓)員ニ在  
リテハ給料又ハ賃錢ノ三分ノ一額

第三號、第二項

四 俸給、給料又ハ賃錢ノ補給ヲ受クベキ者ハ所屬艦  
團部隊其ノ他ノ各部ヨリ左ノ證明ヲ受ケ在籍屬ニ之  
ガ補給ヲ請求スルモノトス

(イ) 召集ニ應ジタルトキハ准士官以上ニ在リテハ指  
定地到着ノ月日、下士官兵ニ在リテハ入團隊、入  
營ノ月日及陸海軍ニ於テ受クベキ俸給額

(ロ) 軍人トシテ受クベキ俸給額ニ異動ヲ生ジタルト  
キハ其ノ月日及異動額

(ハ) 現役ヲ離レ又ハ召集ヲ解カレタルトキハ准士官

以上ニ在リテハ現役ヲ離レ又ハ召集ヲ解カレタル  
月日(事務引繼職務整理ニ従事スルトキハ其ノ事  
務ノ了リタル月日)、下士官兵ニ在リテハ退團隊、  
退營ノ月日

五 補給額ハ傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ依リ軍人俸給ヲ  
減額又ハ停止セラレタル場合ニ在リテモ之ヲ増減セ  
ザルモノトス但シ處刑中ハ其ノ期間補給セズ

六 補給ハ毎月俸給、給料又ハ賃錢支給ノ際在籍屬ニ  
於テ之ヲ行フ

補給額ニシテ過渡又ハ不足渡ヲ生ジタルトキハ翌月  
以降補給ノ際控除又ハ追給ヲ爲スコトヲ得

軍人トシテ受クベキ俸給額ニ異動ヲ生ジタルトキト  
雖モ在籍屬ニ於テ該異動通知受領前既ニ補給済ノモ  
ノニ付テハ前項ノ規定ニ拘ラズ追徴セザルコトヲ得  
但シ故意又ハ重大ナル過失ニ依リ該通知ヲ怠リ又ハ  
遅延セシメタルトキハ本項ヲ適用セザルコトヲ得

七 補給ヲ受ケタル者死亡シタルコト判明シ既ニ支給  
済ノ補給金ニシテ追徴ヲ要スルモノアルトキハ廳長  
ニ於テ追徴困難ナリト認ムル場合ニ限り之ヲ給與ス  
ルコトヲ得

八 廳長必要アリト認ムルトキハ内地人タル常備人夫

海軍公報(部内限) 第四千三百六十三號

昭和十八年四月十二日

三三七

ニ對シ前各號ヲ準用スルコトヲ得  
 九 本令ハ昭和十八年四月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス  
 昭和十二年官房第四〇七七號 同官房第五一三七號  
 同官房第六六八一號及同官房第六六八二號ハ本令適用ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

○通牒  
 (參照) 昭和十二年官房第四〇七七號ハ召集セラレタル雇員備人及  
 工員ノ給與ニ關スル件ナリ  
 昭和十二年官房第五一三七號ハ雇員備人又ハ工員ノ代員ト  
 シテ雇員シタル人夫ノ取扱及賃錢補給ニ關スル件ナリ  
 昭和十二年官房第六六八一號ハ支那事變ニ關シ在營ヲ延期  
 セラレタル工員ノ賃錢補給ニ關スル件ナリ  
 昭和十二年官房第六六八二號ハ給料又ハ賃錢ノ補給ヲ受ケ  
 タル者死亡ノ場合給料又ハ賃錢ノ追徴ニ關スル件ナリ  
 (海軍會計法規類集卷二 八〇八ノ二三及八〇八ノ二四頁)

軍務一機密第二六一號  
 昭和十八年四月一日

内令提  
 要登載

海軍省軍務局長  
 關係廳長殿  
 廢版祕密圖書燒却ニ關スル件照會  
 昭和十七年軍務一機密第八五〇號ニ依ル廢版祕密圖書

處理法ニ關スル件中廢版祕密圖書燒却ニ關シ祕密圖書  
 トハ祕密圖書經理規程ニ規定セラルルモノヲ謂ヒ軍事  
 教育圖書、軍令部刊行圖書其ノ他一般機密圖書ヲ含マ  
 ザルモノナル處誤ツテ此等ヲ燒却セル向アルニ付注意  
 セシメラレ度

艦本機密第一號ノ四五五〇  
 昭和十八年四月十日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿  
 第一百一工作部ニテ火藥火工兵器検査開始  
 ノ件通知  
 今般第一百一海軍工作部ニ於テ火藥火工兵器検査ヲ開始  
 セルニ付所屬竝ニ最寄艦船部隊等ハ火藥火工兵器貯藏  
 検査規則ニ依ル検査ヲ請求相成度

○辭令

第十一特別工作部業務囑託  
 參千七百四拾四圓 白木 徹夫  
 同  
 參千五百拾六圓 武 久 一

|   |          |      |   |          |      |
|---|----------|------|---|----------|------|
| 同 | 參千五百拾六圓  | 若佐文藏 | 同 | 貳千五百拾貳圓  | 佐藤修  |
| 同 | 參千五百拾六圓  | 小川仁一 | 同 | 貳千七百五拾四圓 | 渡邊文男 |
| 同 | 參千四百拾八圓  | 濱田武治 | 同 | 千七百七拾六圓  | 岩本村市 |
| 同 | 貳千五百八拾圓  | 小谷鐵  | 同 | 千九百貳圓    | 久米孝八 |
| 同 | 貳千四百圓    | 岩見久一 | 同 | 貳千五百八拾圓  | 高橋義彦 |
| 同 | 貳千四百圓    | 東米則  | 同 | 貳千貳百四拾四圓 | 森彦次郎 |
| 同 | 貳千貳百四拾四圓 | 岩永萬吉 | 同 | 千八百四拾貳圓  | 佐野雪雄 |
| 同 | 貳千貳百四拾四圓 | 竹森博喜 | 同 | 貳千五百四拾四圓 | 山崎嘉市 |
| 同 | 貳千四百六拾圓  | 中島清  | 同 | 貳千六拾四圓   | 赤堀庄吉 |
| 同 | 貳千貳百四拾四圓 | 伊勢福治 | 同 | 貳千六拾四圓   | 前原茂雄 |

海軍公報(部内限)第四千三百六十三號

昭和十八年四月十二日

三三九



海軍公報(部内限) 第四千三百六十三號 昭和十八年四月十二日

三四〇

第十一特別工作部業務囑託

| (通各)     |          |
|----------|----------|
| 參千拾貳圓    | 原田 貞雄    |
| 同        |          |
| 貳千參百貳拾八圓 | 小野 守正    |
| 同        |          |
| 參千四百八拾圓  | 平林 三郎    |
| 同        |          |
| 貳千四百參拾圓  | 桐田 十吉    |
| 同        |          |
| 參千七百四拾四圓 | 宮崎 裕之助   |
| 同        |          |
| 參千五百五拾貳圓 | 甘利 (允) 顯 |
| 同        |          |
| 參千五百五拾貳圓 | 杉浦 尅夫    |
| 同        |          |
| 貳千九百七拾六圓 | 上田 數馬    |
| 同        |          |
| 貳千九百七拾六圓 | 佐藤 清三    |
| 同        |          |
| 參千四拾八圓   | 小高 喜代治   |
| 同        |          |
| 參千四拾八圓   | 門井 綾太郎   |
| 同        |          |
| 貳千貳百四拾四圓 | 吉田 辰太郎   |
| 同        |          |
| 貳千貳百四拾四圓 | 永岡 伊兵衛   |
| 同        |          |
| 貳千貳百四拾四圓 | 波多野 正己   |
| 同        |          |
| 貳千貳百四拾四圓 | 轟 枝 快友   |
| 同        |          |
| 參千五百六拾四圓 | 坂部 房雄    |
| 同        |          |
| 貳千九百七拾六圓 | 高尾 八郎    |
| 同        |          |
| 千參百八圓    | 松井 好生    |
| 同        |          |
| 千參百八圓    | 加藤 孫平    |
| 同        |          |
| 貳千拾六圓    | 木庭 秀吉    |

